

令和5年 南砺市議会定例会

令和5年10月会議における
市長提案理由の説明要旨

令和5年10月10日

提案理由の説明

(令和5年10月会議)

はじめに

このたび、緊急にご審議いただきたい事案が生じ、10月会議を開会いただきましたところ、議員各位には何かとご多忙の折にもかかわらずご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

はじめに、最近の諸情勢等について申し上げます。

先月、岸田文雄首相が、今後の新たな経済対策の取組みとして、「経済対策5本柱」を表明いたしました。この内容としましては、①物価高から国民生活を守る、②持続的賃上げ・所得向上と地方の成長、③成長力につながる国内投資促進、④人口減少を乗り越え変化を力にする社会変革、⑤国土強靱化など国民の安心・安全、という5つの経済対策の柱でありました。

そして、これらの経済対策に対する財源の裏付けとなる2023年度補正予算案の編成にも取り組むことが示されました。中でも、最優先課題として、国民生活を圧迫している物価高騰への対応と企業の賃上げ・設備投資の促進が挙げられ、コロナ禍から回復途上にある経済を活性化させるという目的が示されたところであります。

市としましても、今後の国の補正予算編成の動向等を的確に捉え、活用できる制度等につきましては、迅速かつ有効に活用していきたいと考えております。

また、市におきましては、10月に入り、いよいよ令和6年度当初予算編成に取り組んでまいります。現時点では、各種財政指標はおおむね

良好であるものの、人口減少に伴う市税収入や普通交付税など、市の根幹をなす財源収入の見通しが厳しい状況にあります。こういった状況の中でも、総合計画をはじめとした各種計画や戦略の推進を着実に進めるべく、庁内横断的に課題解決に向かって取り組んでいかなければならないと考えています。

特に新年度におきましては、こどもまんなか社会の実現や、PLAY EARTH PARK 関連事業の推進、さらには J R 城端線氷見線の再構築をはじめとする地域公共交通の活性化、福光高校跡地の有効活用など、多くの課題解決に向け、積極かつ果敢に取り組んでいきたいと考えています。

また、引き続きコロナ感染症対策や昨今の物価・エネルギー高騰対策などについても、市内の状況に十分鑑み、必要な事業につきましては、国や県の動向を注視しながら、当初予算だけでなく補正予算においても柔軟な対応を行い、市民の安全・安心な生活の維持と市内事業者の経済活動の活性化に繋がるよう取り組んでまいります。

それでは、提出いたしました議案につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

令和 5 年度補正予算

議案第 7 5 号は、令和 5 年度南砺市一般会計補正予算（第 8 号）を調製し、議会の議決を求めるものです。

事業につきましては、7 月の豪雨災害対策関連事業を始め、当初予算編成後に生じた事由に基づく新規事業、事業の中間調整及び施設等の緊急修繕に必要な予算を、補正予算として計上しております。

今回計上しました主な事業につきましてご説明いたします。

7月の豪雨災害対策にかかる事業では、市営栄町住宅の災害復旧事業において、新たに床下浸水箇所等が発見されたことから、復旧工事費等として豪雨災害対策費（住宅費）に419万6千円を増額計上しております。

新規事業では、世界的板画家・棟方志功の戦前の作品の購入費として、美術館自主事業費に1,500万円を計上しております。

事業の中間調整に係る事業では、城端スマートインターチェンジ建設事業において、施工量の増加に伴い市の負担額も増額となったことから、道路新設改良費（単独）に5,652万4千円を増額計上しております。また、林道の維持管理に必要な委託料が不足することから、林道維持費に1,070万円を増額計上しております。

施設等の修繕に係る事業では、福光美術館の第一収蔵庫の空調設備が老朽化により故障したため、美術館管理費に更新工事費として188万5千円を計上しております。

これらのことから、今回の補正予算総額は9,523万5千円となり、この結果、令和5年度一般会計予算の累計額は、349億4,214万3千円となります。

これら補正予算の財源につきましては、市債、繰入金、繰越金を充当して対応いたします。

議案第76号の令和5年度南砺市下水道事業会計補正予算（第1号）は、収益的支出において、漏水減免等にかかる過年度分使用料の還付金が不足となることから130万円を増額計上しております。

以上、提出いたしました議案について提案理由を説明いたしましたが、慎重ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。